昭和61年8月5日洪水から40年の関連行事

大崎市立鹿島台小学校で防災学習会を開催（令和8年10月7日）

- 今から40年前の昭和61年8月5日洪水では、大崎市（旧鹿島台町）を流れる吉田川の堤防が決壊し、大崎市（旧鹿島台町）でも甚大な被害が発生しました
- 地域に大きな被害をもたらした水害の教訓を学び、災害に対する心構えや災害時に的確に行動する姿勢を育んでいただくため、大崎市立鹿島台小学校の6年生57名を対象に、防災学習会を開催しました。
- 洪水当時の状況について地域の方から講演をいただくとともに、大雨災害を想定し、ハザードマップの確認方法や「マイ・タイムライン」を作成し、もし、大雨が降ったら自分だったらどう行動するのか災害への備えについて考えていただきました。



大崎市鹿島台歴史研究会の鈴木会長による昭和61年8月5日洪水の振り返り



ハザードマップの確認方法を学習する児童の様子



大雨災害を想定し、班別にマイ・タイムラインの作成に取り組む児童の様子